

ペットプロデュース学科1年／トリマー科・病院トリマー科・ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数：240回（1授業45分）		後期/授業予定回数： 週（1授業 分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	山谷 佳奈 石井 さより 他		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名<学園認定グルーマーライセンス> 科目の必要性・業界での必要性 道具、犬の正しい扱いを理解し、グルーミングを習得する。 授業の特徴 犬を使用したトリミング実習 授業の進め方 トリミング作業の基本の流れ、心構え、技術を段階的に学ぶ。 また、道具の手入れと日替わりで掃除当番が当たる。		目標取得資格名<動物看護師統一認定試験> 科目の必要性・業界での必要性 授業の特徴 授業の進め方	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：オリエンテーション ・実習質の使用方法、掃除の内容、手順 ・トリミング用品の扱い方、注意点、手入れ方 ・シザー練習、ウィッグカット ・犬の扱い方と接し方、注意事項 ・グルーミング実演 （爪切り、耳掃除、ブラッシング等手順を学ぶ） 第2週～第14週 ・グループ実習 小型のグルーミング犬種を2～3人で1頭 所定の時間内でグルーミングする ・数人グループで大型犬のグルーミング ・犬の保定方の習得 ・道具の手入れ ・教室の清掃 ・順に一人手1頭のグルーミング （グルーマーライセンス実技練習） 第15週：経専学園認定グルーマーライセンス実技			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点			

ペットプロデュース学科1年/トリマー科・病院トリマー科・ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数：30回（1授業45分）		後期/授業予定回数： 週（1授業 分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	大野 富美		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名</p> <p>科目の必要性・業界での必要性</p> <p>躰の観点から犬の性質を理解し、犬と接したり躰をする際の基礎を身に付ける</p> <p>授業の特徴</p> <p>知識を修得し、実際に犬に触れる際に実際できるように学ぶ</p> <p>授業の進め方</p> <p>座学で修得した知識を実習で実践する</p>		<p>目標取得資格名</p> <p>科目の必要性・業界での必要性</p> <p></p> <p>授業の特徴</p> <p></p> <p>授業の進め方</p> <p></p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
<p>第1週：犬について<犬の社会性、種類></p> <p>第2週： 社会化期について></p> <p>第3週：振替休日</p> <p>第4週：しつけについて。躰の意味、方法</p> <p>第5週：犬の扱い方、遊び方</p> <p>第6週： ↓</p> <p>第7週： 家に迎えてからのしつけ</p> <p>第8週： 犬の感情表現</p> <p>第9週： ↓</p> <p>第10週： 散歩のマナー・歩き方</p> <p>第11週： イベント参加に伴う振替休日</p> <p>第12週： ↓</p> <p>第13週： ↓</p> <p>第14週： 定期試験</p> <p>第15週： 解答</p>			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
<p>定期試験 + 平常点（授業態度）</p> <p>100% ±10点</p>			

ペットプロデュース学科1年/トリマー科・病院トリマー科・ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数：30回（1授業45分）		後期/授業予定回数： 週（1授業 分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	青木 美帆		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名</p> <p>修得目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 動物の形態と機能を理解する。 <p>授業の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> 座学 <p>授業の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎回復習プリントを作成し理解を深めるよう実施する 		<p>目標取得資格名</p> <p>科目の必要性・業界での必要性</p> <p>授業の特徴</p> <p>授業の進め方</p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週： 細胞 第2週： 骨 第3週： 歯 第4週： 筋肉 第5週： 視覚 第6週： 味覚 第7週： 聴覚 第8週： 嗅覚 第9週： 消化器 第10週： 呼吸器 第11週： 循環器 第12週： 泌尿器 第13週： 総復習 第14週： 定期試験 第15週： 解答と解説			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点			

ペットプロデュース学科1年/トリマー科・病院トリマー科・ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数：30回（1授業45分）		後期	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	山谷 佳奈		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名 <校内グルーマーライセンス（筆記）> 習得目標 ・グルーミングで必要な基礎知識を習得する。</p> <p>授業の特徴 ・グルーミング作業をスムーズに行う為、道具の扱い方や犬の体のつくり、用語を学ぶ。</p> <p>授業の進め方 ・座学（項目ごとに小テストを実施）</p>			
授業進行計画		授業進行計画	
第1週：道具の名称と手入れ法 第2週：グルーミングの必要性と犬の扱い方 第3週：犬体名称 第4週： 〃 第5週：グルーミング用語と作業の確認 第6週：【宿泊研修】 第7週：グルーミング用語と作業の確認 第8週： 〃 第9週：皮膚について 第10週： 〃 第11週：被毛について 第12週： 〃 第13週：犬体用語 第14週：前期定期試験 第15週：前期定期試験解答			
成績評価方法		成績評価方法	
素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点			

ペットプロデュース学科1年/トリマー科・病院トリマー科・ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数：30回（1授業45分）		後期/授業予定回数： 週/ 週（1授業 分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	石井 さより		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>取得資格名<グルーマーライセンス></p> <p>修得目標</p> <p>犬の起源、分類、特徴など、これから学ぶ『犬』という生き物全てに共通する項目を勉強する。</p> <p>犬に関する基礎を学ぶ</p> <p>授業の特徴</p> <p>『犬』に共通する身体の作り、全犬種の基本の特徴を画像を多く使用し学ぶ。</p> <p>授業の進め方</p> <p>座学。画像を多く使用し、特に多い場合はスライドを使用する。</p>		<p>目標取得資格名<なし></p> <p>修得目標</p> <p>授業の特徴</p> <p>授業の進め方</p>	
授業進行計画		授業進行計画	
<p>第1週：犬の起源について①</p> <p>第2週：犬の起源について②</p> <p>第3週：犬の身体に関する基礎知識①</p> <p>第4週：犬の身体に関する基礎知識②</p> <p>第5週：歯について（歯式、咬合）</p> <p>第6週：犬種グループについて</p> <p>第7週：東京理器講義</p> <p>第8週：犬種グループについて</p> <p>第9週： 〃</p> <p>第10週： 〃</p> <p>第11週： 〃</p> <p>第12週：ドッグショーについて</p> <p>第13週：犬種グループについて</p> <p>第14週：前期定期試験</p> <p>第15週：前期定期試験解答</p>			
成績評価方法		成績評価方法	
<p>素点 + 平常点（授業態度）</p> <p>100% ±10点</p>			

ペットプロデュース学科1年/トリマー科・病院トリマー科・ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数：30回（1授業45分）		後期/授業予定回数： 週（1授業 分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
サービス接遇検定 受験ガイド 3級	霜鳥 ゆみ		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名<サービス接遇検定3級> 科目の必要性・業界での必要性 接客サービスを必要とする動物業界に勤務する上で必要となる、挨拶やマナー・立ち振る舞いを身に付けると同時にサービス接遇検定3級の合格を目指す 授業の特徴 座学授業 授業の進め方 説明→練習問題→解答・解説		目標取得資格名<動物看護師統一認定試験> 科目の必要性・業界での必要性 授業の特徴 授業の進め方	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：サービススタッフの資質 第2週：対人技能①◆人間関係 ◆接遇知識 第3週：対人技能②◆話し方 ◆服装 第4週：実務技能①◆問題処理 ◆環境整備 第5週：実務技能②◆金品管理 ◆社交教務 第6週：過去問題①（解答・解説） 第7週：過去問題②（解答・解説） 第8週：検定振り返り 第9週：〈4/22 2,3講目〉 第10週：〈5/13 2,3講目〉 第11週：〈5/20 2,3講目〉 第12週：〈5/23 2,3講目〉 第13週：〈6/3 2,3講目〉 第14週：定期試験 第15週：定期試験解答		} 前倒して実施	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点		素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科1年/トリマー科・病院トリマー科・ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数：30回（1授業45分）		後期/授業予定回数： 週（1授業 分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
・愛玩動物飼養管理士 オリジナルプリント	高橋 大 青木 美帆		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名<愛玩動物飼養管理士2級></p> <p>修得目標</p> <p>愛玩動物飼養管理士2級の取得を目指し、動物に関わる職業人としての役割や意義、動物の生体生理、関連法律について学び、業界就職後に活かすことのできる知識を学ぶ</p> <p>授業の特徴</p> <p>・テキストやオリジナルプリントを使用し動物に関する法律や手続きについて学ぶ</p> <p>授業の進め方</p> <p>・説明だけではなく、様々な資料等でわかりやすい工夫を取り入れた講義とする</p>			
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
<p>第1週：愛玩動物飼養管理士の社会活動① 犬とは</p> <p>第2週：愛玩動物飼養管理士の社会活動② 猫とは</p> <p>第3週：動物愛護論① 解剖生理</p> <p>第4週：動物愛護論② 繁殖</p> <p>第5週：動物愛護論③ 歴史</p> <p>第6週：人と動物の関係学① 抗体と免疫</p> <p>第7週：人と動物の関係学② 消毒薬</p> <p>第8週：人と動物の関係学③ 環境衛生</p> <p>第9週：動物関係法令概説① 飼育管理と血統書</p> <p>第10週：動物関係法令概説② エキゾチックアニマル</p> <p>第11週：動物関係法令概説③ 行動学</p> <p>第12週：動物関係法令概説④</p> <p>第13週：復習</p> <p>第14週：定期試験</p> <p>第15週：解答週</p>			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
<p>素点 + 平常点（授業態度）</p> <p>100% ±10点</p>			

ペットプロデュース学科1年/トリマー科・病院トリマー科・ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数：30回（1授業45分）		後期/授業予定回数：30回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
なし	高橋 大	なし	高橋 大
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名<なし> <u>科目の必要性・業界での必要性</u> 就職内定を獲得する為、業界の現状及び社会人として必要とされる知識等を取得する。 <u>授業の特徴</u> ペット業界への就職までの流れを理解し、就職活動を円滑に行うための準備をする。 <u>授業の進め方</u> マニュアル、プリント、パワーポイントを用いて説明する。</p>		<p>目標取得資格名<なし> <u>科目の必要性・業界での必要性</u> 就職活動前に実施されるインターンシップを成功させるための指導を行う。 <u>授業の特徴</u> 履歴書の意味、必要性を理解する。 ペット業界での実習の流れを理解し、インターンシップおよび就職活動を円滑に行うための準備をする。 <u>授業の進め方</u> マニュアル、板書、プリントを用いて説明する。</p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
<p>第1週 ☆ 授業内容説明、就職調書の作成 第2週 ☆ ペット業界説明・就職までの流れ 第3週 ☆ 働くことの意義について ☆ 自己目標の実現のために必要なこと 第4週, 第5週 ☆ 職種の説明 第6週, 第7週, 第8週 ☆ 業種別特長説明（トリミングサロン） ☆ 業種別特長説明（ペットショップ） ☆ 業種別特長説明（動物病院） 第9週, 第10週, 第11週 ☆ 専門用語・接客用語・一般常識 第12週 ☆ 現場研修の必要性とその意義 第13週 ☆ 現場で求める人間像 第14週 ☆ 定期試験 第15週, ☆ 解答、インターンシップ企業の選択について</p>		<p>第1週 ☆ インターンシップ研修について 第2週 ☆ 研修中における過去の事例・案件 第3週,第4週,第5週 ☆ 履歴書作成指導 第6週, 第7週,第8週 ☆ 自己PR作成 第9週,第10週,第12週 ☆ 志望動機 第13週,第14週 ☆ 就職活動時のメイク、服装 ☆ 就職活動写真撮影の指導 第15週 ☆ インターンシップ注意事項説明</p>	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
<p>定期試験 + 平常点（授業態度） 100% ±10点</p>		<p>出席率90%以上で修得（定期試験は実施しない） ※90%未満の学生はレポート提出により単位認定</p>	

ペットプロデュース学科1年/トリマー科・病院トリマー科・ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数：15回（1授業45分）		後期/授業予定回数：15回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	石井 さより		石井 さより
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名<なし> 修得目標 ・必要事項の連絡 ・クラスコミュニケーション（面談含む） 授業の特徴 ・座学 授業の進め方 ・クラス全体で伝達事項や懸案事項を検討する		目標取得資格名<なし> 科目の必要性・業界での必要性 ・必要事項の連絡 ・クラスコミュニケーション（面談含む） 授業の特徴 ・座学 授業の進め方 ・クラス全体で伝達事項や懸案事項を検討する	
授業進行計画		授業進行計画	
第1週：オリエンテーション 第2週：学校生活について 第3週：業界施設見学について 第4週：道内研修旅行について 第5週：〃 コース選択について 第6週：〃 第7週：研修旅行について振り返り 第8週：JAKイベント参加準備について 第9週：〃 第10週：合同企業説明会について 第11週：ドッグショーについて 第12週：夏休みの過ごし方・宿題について 第13週：定期試験について 第14週：連絡事項、大掃除 第15週：後期授業について		第1週：後期スタートに当たり 第2週：トリミング試験について 第3週：クラスコミュニケーション 第4週：管理センター見学について 第5週：〃 振り返り 第6週：クラスコミュニケーション 第7週：〃 第8週：愛玩動物飼養管理士試験に向けて 第9週：〃 第10週：自主研修について 第11週：冬休みの過ごし方について 第12週：インターンシップに向けて 第13週：定期試験について 第14週：インターンシップについて 第15週：クラスコミュニケーション	
成績評価方法		成績評価方法	
出席率90%以上で修得とする。		出席率90%以上で修得とする。	

ペットプロデュース学科1年/トリマー科・病院トリマー科・ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数： 週（1授業 分）		後期/授業予定回数：240回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
		・最新ドッググルーミング マニュアル	井上 麻弥子 石井 さより 他
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名	目標取得資格名		
科目の必要性・業界での必要性	<経専学園認定グルーマーライセンス> <日本社会福祉愛犬協会認定C級グルーマーライセンス> 科目の必要性・業界での必要性		
授業の特徴	ペット業界の日々新しい情報と変化し改良されていくトリミングの方法に対応していく為に必要なトリミング技術を向上させる。 授業の特徴		
授業の進め方	生きた新しい情報を取入れ、トリミングのスタンダードを基本とし、あらゆる犬種のトリミング知識と技術を学ぶ。 授業の進め方 スタンダードを理解させ、トリミングの方法・形を覚えるだけではなく、自分で考えてカットさせる力をつける。		
授業進行計画		授業進行計画	
		第1週～第15週 ・経専学園認定グルーマーライセンス合格者は、日本社会福祉愛犬協会認定C級グルーマーライセンス合格に向けたカット練習 （カット犬種二人、又は一人1頭） ・不合格者は、次回のグルーマーライセンス合格に向けた実習 （グルーミング犬種一人一頭） その他犬種別カット技法 ① 短毛種 ② 長毛種・スピッツ種 ③ プードル ④ M・シュナウザー ⑤ 大型犬 など トリマーを目指しグルーミング犬種の正確さと時間短縮を基本にトリミング技術の向上を目的とする。	
成績評価方法		成績評価方法	
		『トリミング実習評価表』に基づく + 平常点(授業態度)	
		100% ±10点	

ペットプロデュース学科1年/トリマー科			
前期/		後期/授業予定回数：30回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
		☆最新犬種図鑑	石井 さより
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名		目標取得資格名	
科目の必要性・業界での必要性		科目の必要性・業界での必要性	犬種標準をメインとした業界に関する知識を得る事でお客様にスムーズな説明・接客を行なうことが出来る。
授業の特徴		授業の特徴	お客様へわかりやすく説明、実践できるよう幅広く学ぶ
授業の進め方		授業の進め方	座学、及び実習
授業進行計画		授業進行計画	
		第1週：犬のりぼんについて（※ 実習含む） 第2週：犬の首輪、リードについて（※ 実習含む） 第3週：公共交通機関の乗り方について 第5週：業界で役立つビジネスマナーについて 第6週：〃 【全犬種犬種標準】 第7週：1、2グループ 第8週：3グループ 第9週：4、5グループ 第10週：6、7、8グループ 第11週：9グループ 第12週：10グループ、全犬種まとめ 第13週：後期まとめ 第14週：後期定期試験 第15週：後期定期試験解答解説	
成績評価方法		成績評価方法	
		定期試験 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科1年/トリマー科			
前期/授業予定回数： 週（ ）		後期/授業予定回数：60回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
		最新ドッググルーミング マニュアル	井上 麻弥子
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
		<p>目標取得資格名 <経専学園認定グルーマーライセンス> <日本社会福祉愛犬協会認定C級グルーマーライセンス></p> <p>習得目標 就職に向け、各トリマーライセンスの資格取得・コンテストでの入賞を目指し、技術の向上に励む。</p> <p>授業の特徴 ライセンスの取得・コンテスト入賞に向け、主に一人で時間や試験での採点ポイントを意識しながら実習を行う。</p> <p>授業の進め方 実習をメインとし、毎月第2週目は座学とする。</p>	
授業進行計画		授業進行計画	
		<p>・第1週 ～ 第15週：</p> <p>経専学園認定グルーマーライセンス試験不合格者は次回のグルーマーライセンス格に向けた実習（グルーミング犬種一人1頭）</p> <p>経専学園認定グルーマーライセンス合格者はグルーミング犬種、グルーミングの時間短縮日本社会福祉愛犬協会認定C級グルーマーライセンス合格、2年次の経専学園認定トリミングライセンス試験に向けたカット練習。（カット犬種一人又は二人で1頭）</p> <p>・月に1週から2週は座学とし、犬体・骨格の理解を目的とし描写・造形などの授業を行う。</p>	
成績評価方法		成績評価方法	
		『トリミング実習評価表』に基づく + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科1年/トリマー科・病院トリマー科・ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数： 週（1授業 分）		後期/授業予定回数：15回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
			太田 圭亮
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 科目の必要性・業界での必要性 授業の特徴 授業の進め方		目標取得資格名 科目の必要性・業界での必要性 ・ペットを扱う職業において知っておくべき看護 関連の知識を得る 授業の特徴 ・座学 授業の進め方 ・座学	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
		第1週：健康チェック 第2週：外耳炎について 第3週： 〃 第4週：感染とは犬の伝染病について 第5週：伝染病について 第6週：予防注射について 第7週：狂犬病について 第8週：オス犬とメス犬の違い 第9週：寄生虫（ノミ）について 第10週： 〃 第11週：寄生虫（マダニ）について 第12週： 〃 第13週：犬と猫に与えてはいけない食べ物 第14週：定期試験 第15週：試験解答解説	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
		定期試験 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科1年/トリマー科・病院トリマー科・ペットショップスタッフ科			
前期		後期/授業予定回数：30回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
		最新犬種図鑑	石井 さより
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
		<u>目標取得資格名</u> <u>科目の必要性・業界での必要性</u> ・犬の起源、分類、特徴などを学ぶことにより、犬の理解を深める <u>授業の特徴</u> 前期に『犬』を学んだ事を踏まえ、より詳しく『各犬種』ごとの起源、特徴、飼い方について学ぶ <u>授業の進め方</u> ・座学	
授業進行計画		授業進行計画	
		【各犬種 犬種標準】 第1週：ダックスフンド 第2週： 〃 第3週：チワワ 第4週： 〃 第5週：ダックスフンド、チワワ確認問題 第6週：パピヨン 第7週： 〃 第8週：ポメラニアン 第9週： 〃 第10週：パピヨン、ポメラニアン確認問題 第11週：キャバリアキングチャールズスパニエル 第12週： 〃 第13週：後期まとめ 第14週：後期定期試験 第15週：後期定期試験解答	
成績評価方法		成績評価方法	
		定期試験 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科1年/トリマー科・病院トリマー科・ペットショップスタッフ科			
前期		後期/授業予定回数：30回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
		JKC 最新 グルーミングマニュアル	井上 麻弥子
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
		<p>目標取得資格名<></p> <p>科目の必要性・業界での必要性 ペット業界の日々新しい情報と変化し改良されていくトリミングの方法に対応していく為に必要なトリミング技術を向上させる為に、座学による頭で考える知識を必要とする。</p> <p>授業の特徴 新しい情報を取り入れ、トリミングのスタンダードを基本とし、あらゆる犬種のトリミング知識と技術を学ぶ。</p> <p>授業の進め方 スタンダードを理解させ、トリミングの方法・形を覚えるだけではなく、考えさせる力をつける。</p>	
授業進行計画		授業進行計画	
		<p>第1週～2週 グルーミング・トリミング中の考え方と姿勢 ・犬の犬体・骨格から考えるトリミング方法 ・正しい犬体と犬質を学び正しい犬体を知る</p> <p>第3週～6週 カット方法と手順を学ぶ ・プードル（ラムクリップ）のカット技法を基本にペットカット（テディ）の方法と手順を学ぶ</p> <p>第7週～10週 犬種別カット技法 ・マルチーズ・シーズー・ヨークシャーテリアポメラニアンなどのグルーミング犬種のペットカットとアレンジ方法 ・アメリカンコッカー、シュナウザー（ペットカット） ※用途・沿革に沿いその犬種らしさを引き出すカット技法を学ぶ</p> <p>第11週 グルーミング犬種手入れラッピング法 ・マル、シーズー、ヨーキー</p> <p>第12週 犬体とトリミングイメージを書く ・トリミングのシミュレーション、カット後のイメージが出来るように図と絵を描く</p> <p>第13週～15週 ブラッキングの基礎 ・ブラッキングの必要性と技法</p> <p>第14週 後期定期試験 第15週 後期定期試験解答</p>	
成績評価方法		成績評価方法	
		<p>定期試験 + 平常点（授業態度）</p> <p>100% ±10点</p>	

ペットプロデュース学科1年／トリマー科・病院トリマー科・ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数：240回（1授業45分）		後期/授業予定回数：週（1授業 分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	山谷 佳奈 石井 さより 他		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名<学園認定グルーマーライセンス> 科目の必要性・業界での必要性 道具、犬の正しい扱いを理解し、グルーミングを習得する。 授業の特徴 犬を使用したトリミング実習 授業の進め方 トリミング作業の基本の流れ、心構え、技術を段階的に学ぶ。 また、道具の手入れと日替わりで掃除当番が当たる。		目標取得資格名<動物看護師統一認定試験> 科目の必要性・業界での必要性 授業の特徴 授業の進め方	
授業進行計画		授業進行計画	
第1週：オリエンテーション ・実習質の使用方法、掃除の内容、手順 ・トリミング用品の扱い方、注意点、手入れ方 ・シザー練習、ウィッグカット ・犬の扱い方と接し方、注意事項 ・グルーミング実演 （爪切り、耳掃除、ブラッシング等手順を学ぶ） 第2週～第14週 ・グループ実習 小型のグルーミング犬種を2～3人で1頭 所定の時間内でグルーミングする ・数人グループで大型犬のグルーミング ・犬の保定方の習得 ・道具の手入れ ・教室の清掃 ・順に一人手1頭のグルーミング （グルーマーライセンス実技練習） 第15週：経専学園認定グルーマーライセンス実技			
成績評価方法		成績評価方法	
素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点			

ペットプロデュース学科1年/トリマー科・病院トリマー科・ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数：30回（1授業45分）		後期/授業予定回数： 週（1授業 分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	大野 富美		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名</p> <p>科目の必要性・業界での必要性</p> <p>躰の観点から犬の性質を理解し、犬と接したり躰をする際の基礎を身に付ける</p> <p>授業の特徴</p> <p>知識を修得し、実際に犬に触れる際に実際できるように学ぶ</p> <p>授業の進め方</p> <p>座学で修得した知識を実習で実践する</p>		<p>目標取得資格名</p> <p>科目の必要性・業界での必要性</p> <p>授業の特徴</p> <p>授業の進め方</p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
<p>第1週：犬について<犬の社会性、種類</p> <p>第2週： 社会化期について></p> <p>第3週：振替休日</p> <p>第4週：しつけについて。躰の意味、方法</p> <p>第5週：犬の扱い方、遊び方</p> <p>第6週： ↓</p> <p>第7週： 家に迎えてからのしつけ</p> <p>第8週： 犬の感情表現</p> <p>第9週： ↓</p> <p>第10週： 散歩のマナー・歩き方</p> <p>第11週： イベント参加に伴う振替休日</p> <p>第12週： ↓</p> <p>第13週： ↓</p> <p>第14週： 定期試験</p> <p>第15週： 解答</p>			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
<p>定期試験 + 平常点（授業態度）</p> <p>100% ±10点</p>			

ペットプロデュース学科1年/トリマー科・病院トリマー科・ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数：30回（1授業45分）		後期/授業予定回数： 週（1授業 分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	青木 美帆		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名</p> <p>修得目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 動物の形態と機能を理解する。 <p>授業の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> 座学 <p>授業の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎回復習プリントを作成し理解を深めるよう実施する 		<p>目標取得資格名</p> <p>科目の必要性・業界での必要性</p> <p>授業の特徴</p> <p>授業の進め方</p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週： 細胞 第2週： 骨 第3週： 歯 第4週： 筋肉 第5週： 視覚 第6週： 味覚 第7週： 聴覚 第8週： 嗅覚 第9週： 消化器 第10週： 呼吸器 第11週： 循環器 第12週： 泌尿器 第13週： 総復習 第14週： 定期試験 第15週： 解答と解説			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点			

ペットプロデュース学科1年/トリマー科・病院トリマー科・ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数：30回（1授業45分）		後期	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	山谷 佳奈		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名 <校内グルーマーライセンス（筆記）> 習得目標 ・グルーミングで必要な基礎知識を習得する。</p> <p>授業の特徴 ・グルーミング作業をスムーズに行う為、道具の扱い方や犬の体のつくり、用語を学ぶ。</p> <p>授業の進め方 ・座学（項目ごとに小テストを実施）</p>			
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：道具の名称と手入れ法 第2週：グルーミングの必要性と犬の扱い方 第3週：犬体名称 第4週： 〃 第5週：グルーミング用語と作業の確認 第6週：【宿泊研修】 第7週：グルーミング用語と作業の確認 第8週： 〃 第9週：皮膚について 第10週： 〃 第11週：被毛について 第12週： 〃 第13週：犬体用語 第14週：前期定期試験 第15週：前期定期試験解答			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点			

ペットプロデュース学科1年/トリマー科・病院トリマー科・ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数：30回（1授業45分）		後期/授業予定回数： 週/ 週（1授業 分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	石井 さより		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>取得資格名<グルーマーライセンス></p> <p>修得目標</p> <p>犬の起源、分類、特徴など、これから学ぶ『犬』という生き物全てに共通する項目を勉強する。</p> <p>犬に関する基礎を学ぶ</p> <p>授業の特徴</p> <p>『犬』に共通する身体の作り、全犬種の基本の特徴を画像を多く使用し学ぶ。</p> <p>授業の進め方</p> <p>座学。画像を多く使用し、特に多い場合はスライドを使用する。</p>		<p>目標取得資格名<なし></p> <p>修得目標</p> <p>授業の特徴</p> <p>授業の進め方</p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
<p>第1週：犬の起源について①</p> <p>第2週：犬の起源について②</p> <p>第3週：犬の身体に関する基礎知識①</p> <p>第4週：犬の身体に関する基礎知識②</p> <p>第5週：歯について（歯式、咬合）</p> <p>第6週：犬種グループについて</p> <p>第7週：東京理器講義</p> <p>第8週：犬種グループについて</p> <p>第9週： //</p> <p>第10週： //</p> <p>第11週： //</p> <p>第12週：ドッグショーについて</p> <p>第13週：犬種グループについて</p> <p>第14週：前期定期試験</p> <p>第15週：前期定期試験解答</p>			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
<p>素点 + 平常点（授業態度）</p> <p>100% ±10点</p>			

ペットプロデュース学科1年/トリマー科・病院トリマー科・ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数：30回（1授業45分）		後期/授業予定回数： 週（1授業 分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
サービス接遇検定 受験ガイド 3級	霜鳥 ゆみ		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名<サービス接遇検定3級> 科目の必要性・業界での必要性 接客サービスを必要とする動物業界に勤務する上で必要となる、挨拶やマナー・立ち振る舞いを身に付けると同時にサービス接遇検定3級の合格を目指す 授業の特徴 座学授業 授業の進め方 説明→練習問題→解答・解説		目標取得資格名<動物看護師統一認定試験> 科目の必要性・業界での必要性 授業の特徴 授業の進め方	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：サービススタッフの資質 第2週：対人技能①◆人間関係 ◆接遇知識 第3週：対人技能②◆話し方 ◆服装 第4週：実務技能①◆問題処理 ◆環境整備 第5週：実務技能②◆金品管理 ◆社交教務 第6週：過去問題①（解答・解説） 第7週：過去問題②（解答・解説） 第8週：検定振り返り 第9週：〈4/22 2,3講目〉 第10週：〈5/13 2,3講目〉 第11週：〈5/20 2,3講目〉 第12週：〈5/23 2,3講目〉 第13週：〈6/3 2,3講目〉 第14週：定期試験 第15週：定期試験解答		} 前倒して実施	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点		素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科1年/トリマー科・病院トリマー科・ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数：30回（1授業45分）		後期/授業予定回数： 週（1授業 分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
・愛玩動物飼養管理士 オリジナルプリント	高橋 大 青木 美帆		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名<愛玩動物飼養管理士2級></p> <p><u>修得目標</u> 愛玩動物飼養管理士2級の取得を目指し、動物に関わる職業人としての役割や意義、動物の生体生理、関連法律について学び、業界就職後に活かすことのできる知識を学ぶ</p> <p><u>授業の特徴</u> ・テキストやオリジナルプリントを使用し動物に関する法律や手続きについて学ぶ</p> <p><u>授業の進め方</u> ・説明だけではなく、様々な資料等でわかりやすい工夫を取り入れた講義とする</p>			
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
<p>第1週：愛玩動物飼養管理士の社会活動① 犬とは</p> <p>第2週：愛玩動物飼養管理士の社会活動② 猫とは</p> <p>第3週：動物愛護論① 解剖生理</p> <p>第4週：動物愛護論② 繁殖</p> <p>第5週：動物愛護論③ 歴史</p> <p>第6週：人と動物の関係学① 抗体と免疫</p> <p>第7週：人と動物の関係学② 消毒薬</p> <p>第8週：人と動物の関係学③ 環境衛生</p> <p>第9週：動物関係法令概説① 飼育管理と血統書</p> <p>第10週：動物関係法令概説② エキゾチックアニマル</p> <p>第11週：動物関係法令概説③ 行動学</p> <p>第12週：動物関係法令概説④</p> <p>第13週：復習</p> <p>第14週：定期試験</p> <p>第15週：解答週</p>			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
<p>素点 + 平常点（授業態度）</p> <p>100% ±10点</p>			

ペットプロデュース学科1年/トリマー科・病院トリマー科・ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数：30回（1授業45分）		後期/授業予定回数：30回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
なし	高橋 大	なし	高橋 大
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名<なし> <u>科目の必要性・業界での必要性</u> 就職内定を獲得する為、業界の現状及び社会人として必要とされる知識等を取得する。 <u>授業の特徴</u> ペット業界への就職までの流れを理解し、就職活動を円滑に行うための準備をする。 <u>授業の進め方</u> マニュアル、プリント、パワーポイントを用いて説明する。</p>		<p>目標取得資格名<なし> <u>科目の必要性・業界での必要性</u> 就職活動前に実施されるインターンシップを成功させるための指導を行う。 <u>授業の特徴</u> 履歴書の意味、必要性を理解する。 ペット業界での実習の流れを理解し、インターンシップおよび就職活動を円滑に行うための準備をする。 <u>授業の進め方</u> マニュアル、板書、プリントを用いて説明する。</p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
<p>第1週 ☆ 授業内容説明、就職調書の作成 第2週 ☆ ペット業界説明・就職までの流れ 第3週 ☆ 働くことの意義について ☆ 自己目標の実現のために必要なこと 第4週, 第5週 ☆ 職種の説明 第6週, 第7週, 第8週 ☆ 業種別特長説明（トリミングサロン） ☆ 業種別特長説明（ペットショップ） ☆ 業種別特長説明（動物病院） 第9週, 第10週, 第11週 ☆ 専門用語・接客用語・一般常識 第12週 ☆ 現場研修の必要性とその意義 第13週 ☆ 現場で求める人間像 第14週 ☆ 定期試験 第15週, ☆ 解答、インターンシップ企業の選択について</p>		<p>第1週 ☆ インターンシップ研修について 第2週 ☆ 研修中における過去の事例・案件 第3週,第4週,第5週 ☆ 履歴書作成指導 第6週, 第7週,第8週 ☆ 自己PR作成 第9週,第10週,第12週 ☆ 志望動機 第13週,第14週 ☆ 就職活動時のメイク、服装 ☆ 就職活動写真撮影の指導 第15週 ☆ インターンシップ注意事項説明</p>	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
<p>定期試験 + 平常点（授業態度） 100% ±10点</p>		<p>出席率90%以上で修得（定期試験は実施しない） ※90%未満の学生はレポート提出により単位認定</p>	

ペットプロデュース学科1年/トリマー科・病院トリマー科・ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数：15回（1授業45分）		後期/授業予定回数：15回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	石井 さより		石井 さより
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名<なし>		目標取得資格名<なし>	
修得目標 ・必要事項の連絡 ・クラスコミュニケーション（面談含む）		科目の必要性・業界での必要性 ・必要事項の連絡 ・クラスコミュニケーション（面談含む）	
授業の特徴 ・座学		授業の特徴 ・座学	
授業の進め方 ・クラス全体で伝達事項や懸案事項を検討する		授業の進め方 ・クラス全体で伝達事項や懸案事項を検討する	
授業進行計画		授業進行計画	
第1週：オリエンテーション 第2週：学校生活について 第3週：業界施設見学について 第4週：道内研修旅行について 第5週：〃 コース選択について 第6週：〃 第7週：研修旅行について振り返り 第8週：JAKイベント参加準備について 第9週：〃 第10週：合同企業説明会について 第11週：ドッグショーについて 第12週：夏休みの過ごし方・宿題について 第13週：定期試験について 第14週：連絡事項、大掃除 第15週：後期授業について		第1週：後期スタートに当たり 第2週：トリミング試験について 第3週：クラスコミュニケーション 第4週：管理センター見学について 第5週：〃 振り返り 第6週：クラスコミュニケーション 第7週：〃 第8週：愛玩動物飼養管理士試験に向けて 第9週：〃 第10週：自主研修について 第11週：冬休みの過ごし方について 第12週：インターンシップに向けて 第13週：定期試験について 第14週：インターンシップについて 第15週：クラスコミュニケーション	
成績評価方法		成績評価方法	
出席率90%以上で修得とする。		出席率90%以上で修得とする。	

ペットプロデュース学科1年/トリマー科・病院トリマー科・ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数： 週（1授業 分）		後期/授業予定回数：240回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
		・最新ドッググルーミング マニュアル	井上 麻弥子 石井 さより 他
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名	目標取得資格名		
科目の必要性・業界での必要性	<経専学園認定グルーマーライセンス> <日本社会福祉愛犬協会認定C級グルーマーライセンス> 科目の必要性・業界での必要性		
授業の特徴	ペット業界の日々新しい情報と変化し改良されていくトリミングの方法に対応していく為に必要なトリミング技術を向上させる。 授業の特徴		
授業の進め方	生きた新しい情報を取入れ、トリミングのスタンダードを基本とし、あらゆる犬種のトリミング知識と技術を学ぶ。 授業の進め方 スタンダードを理解させ、トリミングの方法・形を覚えるだけではなく、自分で考えてカットさせる力をつける。		
授業進行計画		授業進行計画	
		第1週～第15週 ・経専学園認定グルーマーライセンス合格者は、日本社会福祉愛犬協会認定C級グルーマーライセンス合格に向けたカット練習 （カット犬種二人、又は一人1頭） ・不合格者は、次回のグルーマーライセンス合格に向けた実習 （グルーミング犬種一人一頭） その他犬種別カット技法 ① 短毛種 ② 長毛種・スピッツ種 ③ プードル ④ M・シュナウザー ⑤ 大型犬 など トリマーを目指しグルーミング犬種の正確さと時間短縮を基本にトリミング技術の向上を目的とする。	
成績評価方法		成績評価方法	
		『トリミング実習評価表』に基づく + 平常点(授業態度)	
		100% ±10点	

ペットプロデュース学科1年/トリマー科・病院トリマー科・ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数： 週（1授業 分）		後期/授業予定回数：15回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
			太田 圭亮
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<u>目標取得資格名</u> <u>科目の必要性・業界での必要性</u> <u>授業の特徴</u> <u>授業の進め方</u>		<u>目標取得資格名</u> <u>科目の必要性・業界での必要性</u> ・ペットを扱う職業において知っておくべき看護 関連の知識を得る <u>授業の特徴</u> ・座学 <u>授業の進め方</u> ・座学	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
		第1週：健康チェック 第2週：外耳炎について 第3週： 〃 第4週：感染とは犬の伝染病について 第5週：伝染病について 第6週：予防注射について 第7週：狂犬病について 第8週：オス犬とメス犬の違い 第9週：寄生虫（ノミ）について 第10週： 〃 第11週：寄生虫（マダニ）について 第12週： 〃 第13週：犬と猫に与えてはいけない食べ物 第14週：定期試験 第15週：試験解答解説	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
		定期試験 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科1年/トリマー科・病院トリマー科・ペットショップスタッフ科			
前期		後期/授業予定回数：30回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
		最新犬種図鑑	石井 さより
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
		目標取得資格名 科目の必要性・業界での必要性 ・犬の起源、分類、特徴などを学ぶことにより、犬の理解を深める 授業の特徴 前期に『犬』を学んだ事を踏まえ、より詳しく『各犬種』ごとの起源、特徴、飼い方について学ぶ 授業の進め方 ・座学	
授業進行計画		授業進行計画	
		【各犬種 犬種標準】 第1週：ダックスフンド 第2週： 〃 第3週：チワワ 第4週： 〃 第5週：ダックスフンド、チワワ確認問題 第6週：パピヨン 第7週： 〃 第8週：ポメラニアン 第9週： 〃 第10週：パピヨン、ポメラニアン確認問題 第11週：キャバリアキングチャールズスパニエル 第12週： 〃 第13週：後期まとめ 第14週：後期定期試験 第15週：後期定期試験解答	
成績評価方法		成績評価方法	
		定期試験 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科1年/トリマー科・病院トリマー科・ペットショップスタッフ科			
前期		後期/授業予定回数：30回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
		JKC 最新 グルーミングマニュアル	井上 麻弥子
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
		<p>目標取得資格名<></p> <p>科目の必要性・業界での必要性 ペット業界の日々新しい情報と変化し改良されていくトリミングの方法に対応していく為に必要なトリミング技術を向上させる為に、座学による頭で考える知識を必要とする。</p> <p>授業の特徴 新しい情報を取り入れ、トリミングのスタンダードを基本とし、あらゆる犬種のトリミング知識と技術を学ぶ。</p> <p>授業の進め方 スタンダードを理解させ、トリミングの方法・形を覚えるだけではなく、考えさせる力をつける。</p>	
授業進行計画		授業進行計画	
		第1週～2週 グルーミング・トリミング中の考え方と姿勢 ・犬の犬体・骨格から考えるトリミング方法 ・正しい犬体と犬質を学び正しい犬体を知る 第3週～6週 カット方法と手順を学ぶ ・プードル（ラムクリップ）のカット技法を基本にペットカット（テディ）の方法と手順を学ぶ 第7週～10週 犬種別カット技法 ・マルチーズ・シーズー・ヨークシャーテリアポメラニアンなどのグルーミング犬種のペットカットとアレンジ方法 ・アメリカンコッカー、シュナウザー（ペットカット） ※用途・沿革に沿いその犬種らしさを引き出すカット技法を学ぶ 第11週 グルーミング犬種手入れラッピング法 ・マル、シーズー、ヨーキー 第12週 犬体とトリミングイメージを書く ・トリミングのシミュレーション、カット後のイメージが出来るように図と絵を描く 第13週～15週 プラッキングの基礎 ・プラッキングの必要性と技法 第14週 後期定期試験 第15週 後期定期試験解答	
成績評価方法		成績評価方法	
		定期試験 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科1年/病院トリマー科			
前期/		後期/授業予定回数：30回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
			亀岡 彩人
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名		目標取得資格名	
科目の必要性・業界での必要性		科目の必要性・業界での必要性	動物病院で勤務する上で必要な看護、トリミング、接遇の知識を学ぶ
授業の特徴		授業の特徴	
授業の進め方		授業の進め方	
授業進行計画		授業進行計画	
		第1週：病院トリマーの役割 第2週：病院トリマーに必要な知識、技術 第3週：病院で勤務する上で必要な解剖生理学① 第4週：病院で勤務する上で必要な解剖生理学② 第5週：病院で勤務する上で必要な解剖生理学③ 第6週：病院で勤務する上で必要な疾病学① 第7週：病院で勤務する上で必要な疾病学② 第8週：病院で勤務する上で必要な疾病学③ 第9週：飼育管理 第10週：エキゾチックアニマル 第11週：動物の行動 第12週：関係法令概説 第13週：復習 第14週：定期試験 第15週：解答	
成績評価方法		成績評価方法	
		定期試験 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科1年/病院トリマー科			
前期/授業予定回数：週（ ）		後期/授業予定回数：30回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
		動物看護実習テキスト ※変更になる場合があります	青木 美帆
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 修得目標 授業の特徴 授業の進め方		目標取得資格名 取得目標 獣医医療において患者の病名診断に必須な臨床検査の知識、技術を身につける。 授業の特徴 臨床検査の基本を学ぶ。 授業の進め方 動物、検体、検査機器を用いて進める。	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
		第1週：血液検査（CBC・生化学検査） 第2週： 〃 第3週： 〃 第4週： 〃 第5週： 〃 第6週： 〃 第7週： 〃 第8週： 〃 第9週： 〃 第10週： 〃 第11週： 〃 第12週： 〃 第13週： 〃 第14週：まとめと評価試験 第15週：解答	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
		定期試験＋平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科1年/病院トリマー科			
前期/		後期/授業予定回数：30回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
			大野 富美
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
		<p>目標取得資格名 科目の必要性・業界での必要性 牀の観点から犬の性質を理解し、飼い主様からの相談に答えられるようにする</p> <p>授業の特徴 知識だけではなく、実際に犬に触れてケースによって違う対応を身に付ける</p> <p>授業の進め方 実習犬を使い、犬にあった方法でしつけ、基礎訓練を身に付ける</p>	
授業進行計画		授業進行計画	
		第1週：問題行動について、具体例、対処法 第2週： 第3週： 第4週： 第5週： 第6週： 第7週： 第8週： 第9週： 第10週： 第11週： 第12週： 第13週： 第14週：後期定期試験 第15週：後期定期試験、解答	
成績評価方法		成績評価方法	
		定期試験 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科1年／トリマー科・病院トリマー科・ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数：240回（1授業45分）		後期/授業予定回数： 週（1授業 分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	山谷 佳奈 石井 さより 他		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名<学園認定グルーマーライセンス> 科目の必要性・業界での必要性 道具、犬の正しい扱いを理解し、グルーミングを習得する。 授業の特徴 犬を使用したトリミング実習 授業の進め方 トリミング作業の基本の流れ、心構え、技術を段階的に学ぶ。 また、道具の手入れと日替わりで掃除当番が当たる。		目標取得資格名<動物看護師統一認定試験> 科目の必要性・業界での必要性 授業の特徴 授業の進め方	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：オリエンテーション ・実習質の使用方法、掃除の内容、手順 ・トリミング用品の扱い方、注意点、手入れ方 ・シザー練習、ウィッグカット ・犬の扱い方と接し方、注意事項 ・グルーミング実演 （爪切り、耳掃除、ブラッシング等手順を学ぶ） 第2週～第14週 ・グループ実習 小型のグルーミング犬種を2～3人で1頭 所定の時間内でグルーミングする ・数人グループで大型犬のグルーミング ・犬の保定方の習得 ・道具の手入れ ・教室の清掃 ・順に一人手1頭のグルーミング （グルーマーライセンス実技練習） 第15週：経専学園認定グルーマーライセンス実技			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点			

ペットプロデュース学科1年/トリマー科・病院トリマー科・ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数：30回（1授業45分）		後期/授業予定回数： 週（1授業 分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	大野 富美		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名</p> <p>科目の必要性・業界での必要性</p> <p>躰の観点から犬の性質を理解し、犬と接したり躰をする際の基礎を身に付ける</p> <p>授業の特徴</p> <p>知識を修得し、実際に犬に触れる際に実際できるように学ぶ</p> <p>授業の進め方</p> <p>座学で修得した知識を実習で実践する</p>		<p>目標取得資格名</p> <p>科目の必要性・業界での必要性</p> <p></p> <p>授業の特徴</p> <p></p> <p>授業の進め方</p> <p></p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
<p>第1週：犬について<犬の社会性、種類></p> <p>第2週： 社会化期について></p> <p>第3週：振替休日</p> <p>第4週：しつけについて。躰の意味、方法</p> <p>第5週：犬の扱い方、遊び方</p> <p>第6週： ↓</p> <p>第7週： 家に迎えてからのしつけ</p> <p>第8週： 犬の感情表現</p> <p>第9週： ↓</p> <p>第10週： 散歩のマナー・歩き方</p> <p>第11週： イベント参加に伴う振替休日</p> <p>第12週： ↓</p> <p>第13週： ↓</p> <p>第14週： 定期試験</p> <p>第15週： 解答</p>			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
<p>定期試験 + 平常点（授業態度）</p> <p>100% ±10点</p>			

ペットプロデュース学科1年/トリマー科・病院トリマー科・ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数：30回（1授業45分）		後期/授業予定回数： 週（1授業 分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	青木 美帆		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名</p> <p>修得目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 動物の形態と機能を理解する。 <p>授業の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> 座学 <p>授業の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎回復習プリントを作成し理解を深めるよう実施する 		<p>目標取得資格名</p> <p>科目の必要性・業界での必要性</p> <p>授業の特徴</p> <p>授業の進め方</p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
<p>第1週： 細胞</p> <p>第2週： 骨</p> <p>第3週： 歯</p> <p>第4週： 筋肉</p> <p>第5週： 視覚</p> <p>第6週： 味覚</p> <p>第7週： 聴覚</p> <p>第8週： 嗅覚</p> <p>第9週： 消化器</p> <p>第10週： 呼吸器</p> <p>第11週： 循環器</p> <p>第12週： 泌尿器</p> <p>第13週： 総復習</p> <p>第14週： 定期試験</p> <p>第15週： 解答と解説</p>			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
<p>素点 + 平常点（授業態度）</p> <p>100% ±10点</p>			

ペットプロデュース学科1年/トリマー科・病院トリマー科・ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数：30回（1授業45分）		後期	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	山谷 佳奈		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名 <校内グルーマーライセンス（筆記）> 習得目標 ・グルーミングで必要な基礎知識を習得する。</p> <p>授業の特徴 ・グルーミング作業をスムーズに行う為、道具の扱い方や犬の体のつくり、用語を学ぶ。</p> <p>授業の進め方 ・座学（項目ごとに小テストを実施）</p>			
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：道具の名称と手入れ法 第2週：グルーミングの必要性と犬の扱い方 第3週：犬体名称 第4週： 〃 第5週：グルーミング用語と作業の確認 第6週：【宿泊研修】 第7週：グルーミング用語と作業の確認 第8週： 〃 第9週：皮膚について 第10週： 〃 第11週：被毛について 第12週： 〃 第13週：犬体用語 第14週：前期定期試験 第15週：前期定期試験解答			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点			

ペットプロデュース学科1年/トリマー科・病院トリマー科・ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数：30回（1授業45分）		後期/授業予定回数： 週/ 週（1授業 分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	石井 さより		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>取得資格名<グルーマーライセンス></p> <p>修得目標</p> <p>犬の起源、分類、特徴など、これから学ぶ『犬』という生き物全てに共通する項目を勉強する。</p> <p>犬に関する基礎を学ぶ</p> <p>授業の特徴</p> <p>『犬』に共通する身体の作り、全犬種の基本の特徴を画像を多く使用し学ぶ。</p> <p>授業の進め方</p> <p>座学。画像を多く使用し、特に多い場合はスライドを使用する。</p>		<p>目標取得資格名<なし></p> <p>修得目標</p> <p>授業の特徴</p> <p>授業の進め方</p>	
授業進行計画		授業進行計画	
<p>第1週：犬の起源について①</p> <p>第2週：犬の起源について②</p> <p>第3週：犬の身体に関する基礎知識①</p> <p>第4週：犬の身体に関する基礎知識②</p> <p>第5週：歯について（歯式、咬合）</p> <p>第6週：犬種グループについて</p> <p>第7週：東京理器講義</p> <p>第8週：犬種グループについて</p> <p>第9週： 〃</p> <p>第10週： 〃</p> <p>第11週： 〃</p> <p>第12週：ドッグショーについて</p> <p>第13週：犬種グループについて</p> <p>第14週：前期定期試験</p> <p>第15週：前期定期試験解答</p>			
成績評価方法		成績評価方法	
<p>素点 + 平常点（授業態度）</p> <p>100% ±10点</p>			

ペットプロデュース学科1年/トリマー科・病院トリマー科・ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数：30回（1授業45分）		後期/授業予定回数： 週（1授業 分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
サービス接遇検定 受験ガイド 3級	霜鳥 ゆみ		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名<サービス接遇検定3級> 科目の必要性・業界での必要性 接客サービスを必要とする動物業界に勤務する上で必要となる、挨拶やマナー・立ち振る舞いを身に付けると同時にサービス接遇検定3級の合格を目指す 授業の特徴 座学授業 授業の進め方 説明→練習問題→解答・解説		目標取得資格名<動物看護師統一認定試験> 科目の必要性・業界での必要性 授業の特徴 授業の進め方	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：サービススタッフの資質 第2週：対人技能①◆人間関係 ◆接遇知識 第3週：対人技能②◆話し方 ◆服装 第4週：実務技能①◆問題処理 ◆環境整備 第5週：実務技能②◆金品管理 ◆社交教務 第6週：過去問題①（解答・解説） 第7週：過去問題②（解答・解説） 第8週：検定振り返り 第9週：〈4/22 2,3講目〉 第10週：〈5/13 2,3講目〉 第11週：〈5/20 2,3講目〉 第12週：〈5/23 2,3講目〉 第13週：〈6/3 2,3講目〉 第14週：定期試験 第15週：定期試験解答		} 前倒して実施	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点		素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科1年/トリマー科・病院トリマー科・ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数：30回（1授業45分）		後期/授業予定回数： 週（1授業 分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
・愛玩動物飼養管理士 オリジナルプリント	高橋 大 青木 美帆		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名<愛玩動物飼養管理士2級></p> <p>修得目標</p> <p>愛玩動物飼養管理士2級の取得を目指し、動物に関わる職業人としての役割や意義、動物の生体生理、関連法律について学び、業界就職後に活かすことのできる知識を学ぶ</p> <p>授業の特徴</p> <p>・テキストやオリジナルプリントを使用し動物に関する法律や手続きについて学ぶ</p> <p>授業の進め方</p> <p>・説明だけではなく、様々な資料等でわかりやすい工夫を取り入れた講義とする</p>			
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
<p>第1週：愛玩動物飼養管理士の社会活動① 犬とは</p> <p>第2週：愛玩動物飼養管理士の社会活動② 猫とは</p> <p>第3週：動物愛護論① 解剖生理</p> <p>第4週：動物愛護論② 繁殖</p> <p>第5週：動物愛護論③ 歴史</p> <p>第6週：人と動物の関係学① 抗体と免疫</p> <p>第7週：人と動物の関係学② 消毒薬</p> <p>第8週：人と動物の関係学③ 環境衛生</p> <p>第9週：動物関係法令概説① 飼育管理と血統書</p> <p>第10週：動物関係法令概説② エキゾチックアニマル</p> <p>第11週：動物関係法令概説③ 行動学</p> <p>第12週：動物関係法令概説④</p> <p>第13週：復習</p> <p>第14週：定期試験</p> <p>第15週：解答週</p>			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
<p>素点 + 平常点（授業態度）</p> <p>100% ±10点</p>			

ペットプロデュース学科1年/トリマー科・病院トリマー科・ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数：15回（1授業45分）		後期/授業予定回数：15回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
なし	高橋 大	なし	高橋 大
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名<なし> <u>科目の必要性・業界での必要性</u> 就職内定を獲得する為、業界の現状及び社会人として必要とされる知識等を取得する。 <u>授業の特徴</u> ペット業界への就職までの流れを理解し、就職活動を円滑に行うための準備をする。 <u>授業の進め方</u> マニュアル、プリント、パワーポイントを用いて説明する。</p>		<p>目標取得資格名<なし> <u>科目の必要性・業界での必要性</u> 就職活動前に実施されるインターンシップを成功させるための指導を行う。 <u>授業の特徴</u> 履歴書の意味、必要性を理解する。 ペット業界での実習の流れを理解し、インターンシップおよび就職活動を円滑に行うための準備をする。 <u>授業の進め方</u> マニュアル、板書、プリントを用いて説明する。</p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
<p>第1週 ☆ 授業内容説明、就職調書の作成 第2週 ☆ ペット業界説明・就職までの流れ 第3週 ☆ 働くことの意義について ☆ 自己目標の実現のために必要なこと 第4週, 第5週 ☆ 職種の説明 第6週, 第7週, 第8週 ☆ 業種別特長説明（トリミングサロン） ☆ 業種別特長説明（ペットショップ） ☆ 業種別特長説明（動物病院） 第9週, 第10週, 第11週 ☆ 専門用語・接客用語・一般常識 第12週 ☆ 現場研修の必要性とその意義 第13週 ☆ 現場で求める人間像 第14週 ☆ 定期試験 第15週, ☆ 解答、インターンシップ企業の選択について</p>		<p>第1週 ☆ インターンシップ研修について 第2週 ☆ 研修中における過去の事例・案件 第3週,第4週,第5週 ☆ 履歴書作成指導 第6週, 第7週,第8週 ☆ 自己PR作成 第9週,第10週,第12週 ☆ 志望動機 第13週,第14週 ☆ 就職活動時のメイク、服装 ☆ 就職活動写真撮影の指導 第15週 ☆ インターンシップ注意事項説明</p>	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
定期試験 + 平常点（授業態度）		出席率90%以上で修得（定期試験は実施しない）	
100%	±10点	※90%未満の学生はレポート提出により単位認定	

ペットプロデュース学科1年/トリマー科・病院トリマー科・ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数：15回（1授業45分）		後期/授業予定回数：15回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	石井 さより		石井 さより
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名<なし>		目標取得資格名<なし>	
修得目標 ・必要事項の連絡 ・クラスコミュニケーション（面談含む）		科目の必要性・業界での必要性 ・必要事項の連絡 ・クラスコミュニケーション（面談含む）	
授業の特徴 ・座学		授業の特徴 ・座学	
授業の進め方 ・クラス全体で伝達事項や懸案事項を検討する		授業の進め方 ・クラス全体で伝達事項や懸案事項を検討する	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：オリエンテーション 第2週：学校生活について 第3週：業界施設見学について 第4週：道内研修旅行について 第5週：　　　〃　　　コース選択について 第6週：　　　〃 第7週：研修旅行について振り返り 第8週：JAKイベント参加準備について 第9週：　　　〃 第10週：合同企業説明会について 第11週：ドッグショーについて 第12週：夏休みの過ごし方・宿題について 第13週：定期試験について 第14週：連絡事項、大掃除 第15週：後期授業について		第1週：後期スタートに当たり 第2週：トリミング試験について 第3週：クラスコミュニケーション 第4週：管理センター見学について 第5週：　　　〃　　　振り返り 第6週：クラスコミュニケーション 第7週：　　　〃 第8週：愛玩動物飼養管理士試験に向けて 第9週：　　　〃 第10週：自主研修について 第11週：冬休みの過ごし方について 第12週：インターンシップに向けて 第13週：定期試験について 第14週：インターンシップについて 第15週：クラスコミュニケーション	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
出席率90%以上で修得とする。		出席率90%以上で修得とする。	

ペットプロデュース学科1年/トリマー科・病院トリマー科・ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数： 週（1授業 分）		後期/授業予定回数：180回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
		・最新ドッググルーミング マニュアル	井上 麻弥子 石井 さより 他
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名	目標取得資格名		
科目の必要性・業界での必要性	<経専学園認定グルーマーライセンス> <日本社会福祉愛犬協会認定C級グルーマーライセンス> 科目の必要性・業界での必要性		
授業の特徴	ペット業界の日々新しい情報と変化し改良されていくトリミングの方法に対応していく為に必要なトリミング技術を向上させる。 授業の特徴		
授業の進め方	生きた新しい情報を取入れ、トリミングのスタンダードを基本とし、あらゆる犬種のトリミング知識と技術を学ぶ。 授業の進め方 スタンダードを理解させ、トリミングの方法・形を覚えるだけではなく、自分で考えてカットさせる力をつける。		
授業進行計画		授業進行計画	
		第1週～第15週 ・経専学園認定グルーマーライセンス合格者は、日本社会福祉愛犬協会認定C級グルーマーライセンス合格に向けたカット練習 （カット犬種二人、又は一人1頭） ・不合格者は、次回のグルーマーライセンス合格に向けた実習 （グルーミング犬種一人一頭） その他犬種別カット技法 ① 短毛種 ② 長毛種・スピッツ種 ③ プードル ④ M・シュナウザー ⑤ 大型犬 など トリマーを目指しグルーミング犬種の正確さと時間短縮を基本にトリミング技術の向上を目的とする。	
成績評価方法		成績評価方法	
		『トリミング実習評価表』に基づく + 平常点(授業態度)	
		100% ±10点	

ペットプロデュース学科1年/ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数： 週（ 授業 分）		後期/授業予定回数：30回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
		ペットビジネス プロ養成講座 ペットショップ基礎&実践	高瀬 リサ
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名< > 科目の必要性・業界での必要性		目標取得資格名<なし> 科目の必要性・業界での必要性 ペットショップでの就職を目指す上で必要な基礎知識および実践知識を学ぶ	
授業の特徴		授業の特徴 座学	
授業の進め方		授業の進め方 テキストに基づいて重点項目を解説	
授業進行計画		授業進行計画	
		第1週：ペット産業概論 ペットショップの職業倫理と法律① 第2週：ペットショップの職業倫理と法律② 第3週：ペットの歴史と生態、繁殖と遺伝 第4週：ペットの飼育と管理① 第5週：犬と猫の行動学としつけ 第6週：ペットの栄養学 第7週：ペット販売の仕事と流れ 第8週：ペットショップの販売に関する基礎知識① 第9週：ペットショップの販売に関する基礎知識② 第10週：店舗のオペレーションとマネジメント① 第11週：店舗のオペレーションとマネジメント② 第12週：ペットショップでの接客の基本と実際① 第13週：ペットショップでの接客の基本と実際② 第14週：定期試験 第15週：解答・解説	
成績評価方法		成績評価方法	
		素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科1年/ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数：15週（2コマ/週）		後期/授業予定回数：30回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
			企業担当講師
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 修得目標 授業の特徴 授業の進め方		目標取得資格名 修得目標 ペットフードのメーカーごとの特徴などを理解する 授業の特徴 各フードメーカー担当講師による講義 授業の進め方 座学 一部授業実習を実施	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週： 第2週： 第3週： 第4週： 第5週： 第6週： 第7週： 第8週： 第9週： 第10週： 第11週： 第12週： 第13週： 第14週： 第15週：		第1週： 第2週： 第3週： 第4週： フードメーカー各社の特長につ 第5週： いて講義を実施 第6週： 第7週： 第8週： ※メーカー毎の実施回数は 第9週： 異なる場合がある 第10週： 第11週： 第12週： 各授業ごとにレポートの提出 第13週： 第14週： 第15週：	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
		出席率90%以上とレポート提出で修得とする。	

ペットプロデュース学科1年/ペットショップスタッフ科			
前期/		後期/授業予定回数：30回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
			大野 富美
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
		<p>目標取得資格名 科目の必要性・業界での必要性 牀の観点から犬の性質を理解し、飼い主様からの相談に答えられるようにする</p> <p>授業の特徴 知識だけではなく、実際に犬に触れてケースによって違う対応を身に付ける</p> <p>授業の進め方 実習犬を使い、犬にあった方法でしつけ、基礎訓練を身に付ける</p>	
授業進行計画		授業進行計画	
		第1週：問題行動について、具体例、対処法 第2週： 第3週： 第4週： 第5週： 第6週： 第7週： 第8週： 第9週： 第10週： 第11週： 第12週： 第13週： 第14週：後期定期試験 第15週：後期定期試験、解答	
成績評価方法		成績評価方法	
		定期試験 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科1年/ペットショップスタッフ科			
前期/		後期/授業予定回数：30回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
			霜鳥 ゆみ
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
		<u>目標取得資格名</u> <u>科目の必要性・業界での必要性</u> 社会人として基礎となる一般的な接遇マナーを理解し、 実務で活用できるようにする。 <u>授業の特徴</u> 知識と接遇技術の修得を目指した実践的授業 <u>授業の進め方</u> 座学+実践	
授業進行計画		授業進行計画	
		第1週 社会人としての心がまえ 第2週 社会人に必要な「5つの意識」 第3週 仕事の仕方、進め方 第4週 職場のエチケット 第5週 あいさつのルールとマナー 第6週 表情、おじぎの仕方 第7週 身だしなみ 第8週 好感度アップの話し方① 第9週 好感度アップの話し方① 第10週 質問の仕方 第11週 プラスの言葉 第12週 訪問・接客の基本 第13週 定期試験 第14週 定期試験振り返り	
成績評価方法		成績評価方法	
		定期試験 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科1年/トリマー科・病院トリマー科・ペットショップスタッフ科			
前期/授業予定回数： 週（1授業 分）		後期/授業予定回数：15回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
			太田 圭亮
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<u>目標取得資格名</u> <u>科目の必要性・業界での必要性</u> <u>授業の特徴</u> <u>授業の進め方</u>		<u>目標取得資格名</u> <u>科目の必要性・業界での必要性</u> ・ペットを扱う職業において知っておくべき看護 関連の知識を得る <u>授業の特徴</u> ・座学 <u>授業の進め方</u> ・座学	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
		第1週：健康チェック 第2週：外耳炎について 第3週： 〃 第4週：感染とは犬の伝染病について 第5週：伝染病について 第6週：予防注射について 第7週：狂犬病について 第8週：オス犬とメス犬の違い 第9週：寄生虫（ノミ）について 第10週： 〃 第11週：寄生虫（マダニ）について 第12週： 〃 第13週：犬と猫に与えてはいけない食べ物 第14週：定期試験 第15週：試験解答解説	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
		定期試験 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科1年/トリマー科・病院トリマー科・ペットショップスタッフ科			
前期		後期/授業予定回数：30回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
		最新犬種図鑑	石井 さより
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
		目標取得資格名 科目の必要性・業界での必要性 ・犬の起源、分類、特徴などを学ぶことにより、犬の理解を深める 授業の特徴 前期に『犬』を学んだ事を踏まえ、より詳しく『各犬種』ごとの起源、特徴、飼い方について学ぶ 授業の進め方 ・座学	
授業進行計画		授業進行計画	
		【各犬種 犬種標準】 第1週：ダックスフンド 第2週： 〃 第3週：チワワ 第4週： 〃 第5週：ダックスフンド、チワワ確認問題 第6週：パピヨン 第7週： 〃 第8週：ポメラニアン 第9週： 〃 第10週：パピヨン、ポメラニアン確認問題 第11週：キャバリアキングチャールズスパニエル 第12週： 〃 第13週：後期まとめ 第14週：後期定期試験 第15週：後期定期試験解答	
成績評価方法		成績評価方法	
		定期試験 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科1年/トリマー科・病院トリマー科・ペットショップスタッフ科			
前期		後期/授業予定回数：30回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
		JKC 最新 グルーミングマニュアル	井上 麻弥子
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
		<p>目標取得資格名<></p> <p>科目の必要性・業界での必要性 ペット業界の日々新しい情報と変化し改良されていくトリミングの方法に対応していく為に必要なトリミング技術を向上させる為に、座学による頭で考える知識を必要とする。</p> <p>授業の特徴 新しい情報を取り入れ、トリミングのスタンダードを基本とし、あらゆる犬種のトリミング知識と技術を学ぶ。</p> <p>授業の進め方 スタンダードを理解させ、トリミングの方法・形を覚えるだけではなく、考えさせる力をつける。</p>	
授業進行計画		授業進行計画	
		第1週～2週 グルーミング・トリミング中の考え方と姿勢 ・犬の犬体・骨格から考えるトリミング方法 ・正しい犬体と犬質を学び正しい犬体を知る 第3週～6週 カット方法と手順を学ぶ ・プードル（ラムクリップ）のカット技法を基本にペットカット（テディ）の方法と手順を学ぶ 第7週～10週 犬種別カット技法 ・マルチーズ・シーズー・ヨークシャーテリアポメラニアンなどのグルーミング犬種のペットカットとアレンジ方法 ・アメリカンコッカー、シュナウザー（ペットカット） ※用途・沿革に沿いその犬種らしさを引き出すカット技法を学ぶ 第11週 グルーミング犬種手入れラッピング法 ・マル、シーズー、ヨーキー 第12週 犬体とトリミングイメージを書く ・トリミングのシミュレーション、カット後のイメージが出来るように図と絵を描く 第13週～15週 プラッキングの基礎 ・プラッキングの必要性と技法 第14週 後期定期試験 第15週 後期定期試験解答	
成績評価方法		成績評価方法	
		定期試験 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科1年/動物看護師科			
前期/授業予定回数：15回（1授業45分）		後期/授業予定回数：15回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	石井 さより		石井 さより
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名<なし> 修得目標 ・必要事項の連絡 ・クラスコミュニケーション（面談含む） 授業の特徴 ・座学 授業の進め方 ・クラス全体で伝達事項や懸案事項を検討する		目標取得資格名<なし> 科目の必要性・業界での必要性 ・必要事項の連絡 ・クラスコミュニケーション（面談含む） 授業の特徴 ・座学 授業の進め方 ・クラス全体で伝達事項や懸案事項を検討する	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：オリエンテーション 第2週：学校生活について 第3週：ペットショップ見学について 第4週：道内研修旅行について 第5週： // コース選択について 第6週： // 選択科目について 第7週：研修旅行について振り返り 第8週：運動会について 第9週： // 第10週：合同企業説明会について 第11週：ドッグショーについて 第12週：夏休みの過ごし方について 第13週：定期試験について 第14週：後期授業について 第15週：夏休み過ごし方・宿題について		第1週：後期スタートに当たり 第2週：連絡事項 第3週： // 第4週：管理センター見学について 第5週： // 振り返り 第6週：連絡事項 第7週： // 第8週：愛玩動物飼養管理士試験に向けて 第9週： // 第10週：自主研修について 第11週：冬休みの過ごし方について 第12週：インターンシップに向けて 第13週：定期試験について 第14週：インターンシップについて 第15週：2年生に向けて	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
出席率90%以上で修得とする。		出席率90%以上で修得とする。	

ペットプロデュース学科1年/動物看護師科			
前期/授業予定回数：15回（1授業45分）		後期/授業予定回数：15回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
なし	高橋 大	なし	高橋 大
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 ＜なし＞ 科目の必要性・業界での必要性 就職内定を獲得する為、業界の現状及び社会人として必要とされる知識等を取得する。 授業の特徴 ペット業界への就職までの流れを理解し、就職活動を円滑に行うための準備をする。 授業の進め方 マニュアル、プリント、パワーポイントを用いて説明する。		目標取得資格名 ＜なし＞ 科目の必要性・業界での必要性 就職活動前に実施されるインターンシップを成功させるための指導を行う。 授業の特徴 履歴書の意味、必要性を理解する。 ペット業界での実習の流れを理解し、インターンシップおよび就職活動を円滑に行うための準備をする。 授業の進め方 マニュアル、板書、プリントを用いて説明する。	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週 ☆ 授業内容説明 ☆ 就職調書の作成 第2週 ☆ ペット業界説明・就職までの流れ 第3週 ☆ 働くことの意義について ☆ 自己目標の実現のために必要なこと 第4週, 第5週 ☆ 職種の説明 第6週, 第7週, 第8週 ☆ 業種別特長説明（トリミングサロン） ☆ 業種別特長説明（ペットショップ） ☆ 業種別特長説明（動物病院） 第9週, 第10週, 第11週 ☆ 専門用語・接客用語・一般常識 第12週 ☆ 現場研修の必要性とその意義 第13週 ☆ 現場で求める人間像 第14週 ☆ 定期試験 第15週, ☆ 解答、インターンシップ企業の選択について		第1週 ☆ インターンシップ研修について 第2週 ☆ 研修中における過去の事例・案件 第3週, 第4週, 第5週 ☆ 履歴書作成指導 第6週, 第7週, 第8週 ☆ 自己PR作成 第9週, 第10週, 第11週 ☆ 志望動機 第12週, 第13週 ☆ 就職活動時のメイク、服装 ☆ 就職活動写真撮影の指導 第14週 ☆ インターンシップ注意事項説明 第15週 ☆ 動物看護師コースインターンシップまとめ	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
定期試験 + 平常点（授業態度） 100% ±10点			

ペットプロデュース学科1年/動物看護師科			
前期/授業予定回数：30回（1授業45分）		後期/授業予定回数：45回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	青木 美帆	動物看護コアテキスト第2巻 動物のからだの構造と機能 (ファームプレス)	皆上 太一
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 修得目標 ・動物の形態と機能を理解する。 授業の特徴 ・座学 授業の進め方 ・毎回復習プリントを作成し理解を深めるよう実施する		目標取得資格名 <動物看護師統一認定資格> 修得目標 主に犬猫を中心にその他ウサギ、鳥類などの動物の体の構造、筋骨格系・呼吸器系・消化器系・循環器系・泌尿器系・内分泌系・神経及び感覚器系の機能を理解する。さらに解剖学用語を習得し生命現象を理解する。 授業の特徴 動物看護職統一資格試験の過去問を解答解説し、関連する部分を教科書などの教材で掘り下げます。 授業の進め方 講義毎に小テストを行い、定期試験の代用とします。	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週： 細胞 第2週： 骨 第3週： 歯 第4週： 筋肉 第5週： 視覚 第6週： 味覚 第7週： 聴覚 第8週： 嗅覚 第9週： 消化器 第10週： 呼吸器 第11週： 循環器 第12週： 泌尿器 第13週： 総復習 第14週： 定期試験 第15週： 解答と解説		第1週 2014年度(2月)過去問から関連問題を抜粋 第2週 これらの解答解説など 第3週 〃 第4週 2014年度(3月)過去問から関連問題を抜粋 第5週 これらの解答解説など 第6週 〃 第7週 2015年度過去問から関連問題を抜粋 第8週 これらの解答解説など 第9週 〃 第10週 2016年度過去問から関連問題を抜粋 第11週 これらの解答解説など 第12週 〃 第13週 2017年度過去問から関連問題を抜粋 第14週 これらの解答解説など 第15週 〃	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
定期試験＋平常点（授業態度） 100% ±10点			

ペットプロデュース学科1年/動物看護師科			
前期/授業予定回数：30回（1授業45分）		後期/授業予定回数：	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
・愛玩動物飼養管理士 オリジナルプリント	高橋 大 青木 美帆		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 <愛玩動物飼養管理士2級> 修得目標 愛玩動物飼養管理士2級の取得を目指し、動物に関わる職業人としての役割や意義、動物の生体生理、関連法律について学び、業界就職後に活かすことのできる知識を学ぶ 授業の特徴 ・テキストやオリジナルプリントを使用し動物に関する法律や手続きについて学ぶ 授業の進め方 ・説明だけではなく、様々な資料等でわかりやすい工夫を取り入れた講義とする			
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：愛玩動物飼養管理士の社会活動① 犬とは 第2週：愛玩動物飼養管理士の社会活動② 猫とは 第3週：動物愛護論① 解剖生理 第4週：動物愛護論② 繁殖 第5週：動物愛護論③ 歴史 第6週：人と動物の関係学① 抗体と免疫 第7週：人と動物の関係学② 消毒薬 第8週：人と動物の関係学③ 環境衛生 第9週：動物関係法令概説① 飼育管理と血統書 第10週：動物関係法令概説② エキゾチックアニマル 第11週：動物関係法令概説③ 行動学 第12週：動物関係法令概説④ 第13週：復習 第14週：定期試験 第15週：解答週			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点			

ペットプロデュース学科1年/動物看護師科			
前期/授業予定回数：30回（1授業45分）		後期/授業予定回数： 週/ 週（1授業 分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	石井 さより		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
取得資格名 ＜グルーマーライセンス＞ 修得目標 犬の起源、分類、特徴など、これから学ぶ『犬』という生き物全てに共通する項目を勉強する。 犬に関する基礎を学ぶ 授業の特徴 『犬』に共通する身体の作り、全犬種の基本の特徴を画像を多く使用し学ぶ。 授業の進め方 座学。画像を多く使用し、特に多い場合はスライドを使用する。		目標取得資格名 ＜なし＞ 修得目標 授業の特徴 授業の進め方	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：犬の起源について① 第2週：犬の起源にについて② 第3週：犬の身体に関する基礎知識① 第4週：犬の身体に関する基礎知識② 第5週：歯について（歯式、咬合） 第6週：犬種グループについて 第7週：東京理器講義 第8週：犬種グループについて 第9週： // 第10週： // 第11週： // 第12週：ドッグショーについて 第13週：犬種グループについて 第14週：前期定期試験 第15週：前期定期試験解答			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点			

ペットプロデュース学科/動物看護師科 1年生			
前期/授業予定回数：30回（1授業45分）		後期/授業予定回数： 週（1授業 分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
動物看護コアテキスト 第4巻 ファームプレス 他 配布資料有り	皆上まゆ子		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名<動物看護師統一認定試験></p> <p>修得目標 主に犬猫の発生起源、種類による特性を知り、基本的行動様式から適正飼育と正しいハンドリング及び基本的なしつけを理解し、看護と飼い主指導に活かす。</p> <p>授業の特徴 動物病院で質問されること、問題になることを中心に。</p> <p>授業の進め方 難しい内容も楽しく。</p>			
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週 ◇行動学とは。 有名な行動学者達とその研究 第2週 ◇犬の起源・生態 第3週 ◇猫の起源・生態 第4週 ◇行動特性、日周期など 第5週 ◇犬と猫の行動学的特徴 第6週 発達段階、ネチー（幼形成熟） 第7週 ◇犬のコミュニケーション 聴覚・嗅覚・視覚 第8週 ◇猫のコミュニケーション 聴覚・嗅覚・視覚 第9週 ◇基本的なトレーニング 第10週 古典的条件づけ・オペラント条件づけ 消去・馴化・鋭敏化・刺激一般化 第11週 ◇犬や猫で見られる主な問題行動 第12週 動物病院でよく受ける相談・便利グッズ 第13週 ◇総復習 第14週 試験 第15週 試験の解答・解説			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点		素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科/動物看護師科 1年生			
前期/授業予定回数：15回（1授業45分）		後期/授業予定回数：15回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
動物看護コアテキスト 第1巻、第5巻 ファームプレス 他 配布資料有り	皆上 まゆ子	動物看護コアテキスト 第1巻、第5巻 ファームプレス 他 配布資料有り	皆上 まゆ子
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 <動物看護師統一認定試験> 修得目標 生命倫理を基本に人と動物が共生するために必要な倫理学の理念を理解する。 チーム医療に基づいた専門職としての看護倫理、業務指針から、動物及び飼い主に寄り添った動物看護実践能力と問題解決能力を理解する。 授業の特徴 診療現場での実例、対応を考えながら学ぶ。 授業の進め方 難しい内容も、楽しく。		目標取得資格名 <動物看護師統一認定試験> 修得目標 生命倫理を基本に人と動物が共生するために必要な倫理学の理念を理解する。 チーム医療に基づいた専門職としての看護倫理、業務指針から、動物及び飼い主に寄り添った動物看護実践能力と問題解決能力を理解する。 授業の特徴 診療現場での実例、対応を考えながら学ぶ。 授業の進め方 難しい内容も、楽しく。	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：動物福祉論 動物福祉とは 第2週：日本と西欧における動物観の変遷 第3週：アニマルウェルフェア 第4週：ファイブフリーダム（5つの自由）・3R 第5週：インフォームドコンセント 第6週：QOL（生活の質） 第7週：学校飼育動物、産業動物の福祉 第8週：展示動物、実験動物、野生動物の福祉 第9週：動物愛護法① 第10週：動物愛護法② 第11週：動物愛護法③ 第12週：安楽死・ペトロス症候群・グリーンケア 第13週：総復習 第14週：試験実施 第15週：解答&解説		第1週：動物看護倫理 倫理とは 第2週：動物看護者の倫理綱領 第3週：〃 第4週：獣医法・動物愛護法など 第5週：〃 第6週：動物看護業務に関連する法規 第7週：動物看護における業務指針 第8週：インフォームドコンセント 第9週：動物看護概論 動物看護とは何か？ 第10週：「看護」の歴史と定義 第11週：獣医療の歴史 資格制度 第12週：「看護」の対象と目的 第13週：まとめ&総復習 第14週：定期試験 第15週：試験解答復習	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
定期試験	平常点（授業態度） 100% ±10点	定期試験	平常点（授業態度） 100% ±10点

ペットプロデュース学科/動物看護師科 1年生			
前期/授業予定回数：30回（1授業45分）		後期/授業予定回数： 週（1授業 分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
動物看護コアテキスト第6巻	青木 美帆		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名<動物看護師統一試験></p> <p>取得目標</p> <p>様々な臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機器の正しい扱い方、所見の記録方法を修得する。</p> <p>授業の特徴</p> <p>検体、検査機器を使用するための授業</p> <p>授業の進め方</p> <p>理解力を確認しながら実習を織り交ぜて進める。</p>			
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：顕微鏡の使用方法 第2週：糞便検査の知識 第3週： 〃 第4週： 〃 第5週： 〃 第6週： 〃 第7週： 〃 第8週：尿検査の知識 第9週： 〃 第10週： 〃 第11週： 〃 第12週： 〃 第13週： 〃 第14週：定期試験解 第15週：解答			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点			

ペットプロデュース学科/動物看護師科 1年生			
前期/授業予定回数：15回（1授業45分）		後期/授業予定回数：15回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
サービス接客検定 受験ガイド 3級	霜鳥 ゆみ		霜鳥 ゆみ
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名<サービス接客検定3級> 科目の必要性・業界での必要性 接客サービスを必要とする動物業界に勤務する上で必要となる、挨拶やマナー・立ち振る舞いを身に付けると同時にサービス接客検定3級の合格を目指す</p> <p>授業の特徴 座学授業</p> <p>授業の進め方 説明→練習問題→解答・解説</p>		<p>目標取得資格名<動物看護師統一認定試験> 科目の必要性・業界での必要性 飼主様や院内スタッフとのコミュニケーションの基礎を身に付ける</p> <p>授業の特徴 座学と実演</p> <p>授業の進め方 座学と実演</p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
<p>第1週：サービススタッフの資質 第2週：対人技能①◆人間関係 ◆接客知識 第3週：対人技能②◆話し方 ◆服装 第4週：実務技能①◆問題処理 ◆環境整備 第5週：実務技能②◆金品管理 ◆社交教務 第6週：過去問題①（解答・解説） 第7週：過去問題②（解答・解説） 第8週：検定振り返り 第9週：〈4/22 2,3講目〉 第10週：〈5/13 2,3講目〉 第11週：〈5/20 2,3講目〉 第12週：〈5/23 2,3講目〉 第13週：〈6/3 2,3講目〉 第14週：定期試験 第15週：定期試験解答</p> <p style="text-align: right;">} 前倒して実施</p>		<p>第1週：表情 第2週：報告、連絡、相談 第3週： // 第4週：姿勢、仕草 第5週：受付実演 第6週：聞く姿勢 第7週：マジックフレーズ（クッション言葉） 第8週： // （依頼形、肯定形） 第9週： // （yes-but法） 第10週：言葉遣い（敬語の練習） 第11週： // 第12週： // 第13週： // 第14週：定期試験 第15週：試験解答復習</p> <p>※コミュニケーションを目的としたワークも実施</p>	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
定期試験 + 平常点（授業態度） 100% ±10点			

ペットプロデュース学科/動物看護師科 1年生			
前期/授業予定回数：30回（1授業45分）		後期/授業予定回数：週（1授分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	青木 美帆		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<u>目標取得資格名</u> ＜動物看護師統一認定試験＞ <u>修得目標</u> 犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な知識と手技を学び、身体検査や採血、投薬、輸液、輸血などについて理解する。 <u>授業の特徴</u> 座学、実習 <u>授業の進め方</u> 理解力を確認しながら実習を行う		<u>目標取得資格名</u> <u>修得目標</u> <u>授業の特徴</u> <u>授業の進め方</u>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：動物看護師業務について・実習注意 第2週：バイタルサイン 第3週： // 第4週： // 第5週：調剤（薬剤用具と専門用語） 第6週：調剤（調剤法） 第7週： // 第8週：調剤（薬包紙と分包機） 第9週： // 第10週：調剤（処方箋と薬用量の計算） 第11週： // 第12週：おさらい（カルテを読み取り調剤） 第13週：おさらい（ // ） 第14週：定期試験 第15週：解答と解説			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
定期試験 + 平常点（授業態度） 100% ±10点			

ペットプロデュース学科/動物看護師科 1年生			
前期/授業予定回数：30回（1授業45分）		後期/授業予定回数： 週（1授業 分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	今木 康彦		
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名<動物看護師統一試験> <u>修得目標</u> 人と動物の調和に関わる事を学ぶ <u>授業の特徴</u> 動物が人間社会で果たしている役割やその背景・歴史について学び、人と動物の関係を心理学のおよび社会学的側面から理解する。 <u>授業の進め方</u> 板書しながら授業をし、さらに映像を見て学びを深くしていく			
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：人と動物の関係 狩猟・採集社会 第2週：人と動物の関係 農耕社会 第3週：人と動物の関係 ヴィクトリア朝時代 第4週：人と動物の関係 現代 第5週：動物介在介入とは何か 第6週：動物介在介入の歴史① 乗馬療法 第7週：動物介在介入の歴史② 盲導犬 第8週：動物介在介入の歴史③ 精神疾患への導入 第9週：動物からの人への恩恵①（身体的効果） 第10週：動物からの人への恩恵①（心理的効果） 第11週：動物からの人への恩恵①（社会的効果） 第12週：介在動物について 第13週 ①施設訪問型、施設飼育型 ②自宅訪問型、自宅飼育型 ③野外活動型 イルカ・セラピー 第14週：定期試験 第15週：解答週			
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
素点 + 平常点（授業態度）			
100% ±10点			

ペットプロデュース学科/動物看護師1年生			
前期/授業予定回数：30回（1授業45分）		後期/授業予定回数：30回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
緑書房 エキゾチックアニマル	大森 吾貴彦	緑書房 エキゾチックアニマル	大森 吾貴彦
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名 <動物看護師統一認定試験> 修得目標 伴侶動物の歴史や品種、飼育管理法およびエキゾチックアニマルの生態について学ぶ。 授業の特徴 伴侶動物の種類、品種、飼育管理法 授業の進め方 座学・実習		目標取得資格名 <動物看護師統一認定試験> 修得目標 伴侶動物の歴史や品種、飼育管理法およびエキゾチックアニマルの生態について学ぶ。 授業の特徴 伴侶動物の種類、品種、飼育管理法 授業の進め方 座学・実習	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：うさぎの特徴について 第2週：うさぎの生態について 第3週：うさぎの飼育方法について 第4週：うさぎの飼育方法について 第5週：モルモットの特徴 第6週：モルモットの生態 第7週：モルモットの飼育方法 第8週：モルモットの飼育方法 第9週：ハムスターの特徴 第10週：ハムスターの生態 第11週：ハムスターの飼育方法 第12週：ハムスターの飼育方法 第13週：総復習 第14週：定期試験 第15週：解答・解説		第1週：ハリネズミの特徴について 第2週：ハリネズミの飼育方法 第3週：モモンガの特徴について 第4週：モモンガの飼育方法 第5週：リスの特徴について 第6週：リスの飼育方法 第7週：セキセイインコの特徴 第8週：オカメインコの特徴 第9週：文鳥の特徴 第10週：ウズラの特徴、鳥類の飼育方法 第11週：リクガメの特徴 第12週：前期のまとめ、試験範囲説明 第13週： " 第14週：定期試験 第15週：定期試験解答 ※内容は変更になる場合がある	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
定期試験 + 平常点（授業態度） 100% ±10点			

ペットプロデュース学科/動物看護師科 1年生			
前期/授業予定回数：30回（1授業45分）		後期/授業予定回数：30回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
		動物看護コアテキスト6巻 （動物看護の実践）	岩崎 忍
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名</p> <p>修得目標</p> <p>授業の特徴</p> <p>授業の進め方</p>		<p>目標取得資格名<動物看護師統一試験></p> <p>修得目標</p> <p>麻酔導入から覚醒までの身体変化を理解し適切な対応ができる。また術野の準備から手術助手業務まで身に付ける。</p> <p>授業の特徴</p> <p>現場で実際に使用する器具・器材を使い実践感覚で器具の名称や扱い方を習得</p> <p>授業の進め方</p> <p>座学の後に実習を行う。</p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
		第1週：外科手術の目的と基本的概論 第2週：" 第3週：消毒・滅菌の概論及び無菌的操作の習得① 第4週：" 第5週：消毒・滅菌の概論及び無菌的操作の習得② 第6週：" 第7週：外科器具・器材の名称と使用方法を習得① 第8週：" 第9週：外科器具・器材の名称と使用方法を習得② 第10週：" 第11週：術前準備① 手術準備のための滅菌・消毒 第12週：" 第13週：術前準備② 外科内容に応じた準備 第14週：" 第15週：定期試験	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
		素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科/動物看護師科 1 年生			
前期/授業予定回数：30回（1授業45分）		後期/授業予定回数：15回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	太田 圭亮		太田 圭亮
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名<動物看護師統一認定試験> 科目の必要性・業界での必要性 疾病の成り立ちと回復の促進に寄与することを学ぶ。 授業の特徴 寄生虫の分類、生物学的特性、伝播様式や発病のメカニズムについて学び、検査や診断、衛生管理、予防・治療法など感染症対策の基礎を修得する。感染防御に関わる免疫学の基礎についても学ぶ。 授業の進め方 ・座学</p>		<p>目標取得資格名<動物看護師統一認定試験> 科目の必要性・業界での必要性 おもに犬猫に感染する内部寄生虫、外部寄生虫および微生物について理解し、予防と看護に活かす 授業の特徴 寄生虫の分類、生物学的特性、伝播様式や発病のメカニズムについて学び、検査や診断、衛生管理、予防・治療法など感染症対策の基礎を修得する。感染防御に関わる免疫学の基礎についても学ぶ。 授業の進め方 座学</p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：寄生虫とは 第2週：寄生虫についての用語 第3週：鞭虫 第4週：鉤虫 第5週：回虫類 第6週：その他線虫類 第7週：フィラリア 第8週：〃 第9週：条虫類 第10週：吸虫類 第11週：ジアルジア 第12週：コクシジウム 第13週：おさらい・その他原虫類 第14週：定期試験 第15週：解答		第1週：瓜実条虫 第2週：マンソン裂頭条虫 第3週：多包条虫 第4週：その他の条虫類 第5週：吸虫類 第6週：ジアルジア 第7週：トキソプラズマ 第8週：コクシジウム 第9週：マダニ 第10週：ノミ 第11週：毛包虫 第12週：その他外部寄生虫 第13週：〃 第14週：定期試験 第15週：解答解説	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
定期試験 + 平常点（授業態度） 100% ±10点			

ペットプロデュース学科/動物看護師1年生			
前期/授業予定回数：30回（1授業45分）		後期/授業予定回数：15回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
動物看護コアテキスト第6巻 動物看護実習テキスト	伊東 登	動物看護コアテキスト第6巻 動物看護実習テキスト	伊東 登
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
目標取得資格名＜動物看護師統一認定試験＞ 科目の必要性・業界での必要性 微生物（細菌・真菌・ウイルス）の分類、生物学的特性、伝播様式や発病のメカニズムについて学び、消毒などの衛生管理も理解する。		目標取得資格名＜動物看護師統一認定試験＞ 科目の必要性・業界での必要性 微生物（細菌・真菌・ウイルス）の分類、生物学的特性、伝播様式や発病のメカニズムについて学び、消毒などの衛生管理も理解する。	
授業の特徴 座学		授業の特徴 座学	
授業の進め方 座学		授業の進め方 座学	
授業進行計画		授業進行計画	
第1週：ウイルスの形態と構造 第2週：感染と感染経路 第3週：狂犬病・犬ジステンパー 第4週： 〃 第5週：犬アデノウイルス2型感染症 犬伝染性肝炎 第6週： 〃 第7週：犬パルボウイルス 犬ヘルペスウイルス 第8週： 〃 第9週：犬コロナウイルス 犬伝染性気管支炎（ケンネルコフ） 第10週： 〃 第11週：猫汎白血球減少症 猫ウイルス性鼻気管炎 第12週： 〃 第13週：総復習 第14週：試験 第15週：解答		第1週：猫カリシウイルス感染症 猫の後天性免疫不全症（猫エイズ病） 第2週： 〃 第3週：猫白血病 猫伝染性腹膜炎 第4週： 〃 第5週：ワクチンとは ワクチンの種類と特徴 第6週： 〃 第7週：犬のワクチネーション 第8週： 〃 第9週： 〃 第10週：猫のワクチネーション 第11週： 〃 第12週：消毒と滅菌 第13週：総復習 第14週：定期テスト 第15週：解答、解説	
成績評価方法		成績評価方法	
定期試験＋平常点（授業態度） 100% ±10点			

ペットプロデュース学科/動物看護師科 1 年生			
前期/授業予定回数： 15回 (1授業45分)		後期/授業予定回数： 15回 (1授業45分)	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	伊藤 航		伊藤 航
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名<動物看護師統一認定試験> 科目の必要性・業界での必要性 動物看護の過程の一連のプロセスを学び、事例ごとの個別性に重きを置いた動物看護の基本的な考え方を習得する。</p> <p>授業の特徴 座学</p> <p>授業の進め方 座学</p>		<p>目標取得資格名<動物看護師統一認定試験> 科目の必要性・業界での必要性 動物看護の過程の一連のプロセスを学び、事例ごとの個別性に重きを置いた動物看護の基本的な考え方を習得する。</p> <p>授業の特徴 座学</p> <p>授業の進め方 座学</p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：動物看護倫理とは 第2週： 〃 第3週： 〃 第4週： 〃 第5週：動物看護過程 第6週：QOL (生活の質) 第7週：動物の福祉 第8週：ファイブフリーダム 第9週： 〃 第10週：インフォームドコンセント 第11週：安楽死について 第12週：ペットロス症候群 第13週：グリーフケア 第14週：定期試験 第15週：試験解答復習		第1週：動物看護とは 第2週：痒みに対する看護① 第3週：痒みに対する看護② 第4週：疼痛に対する看護① 第5週：疼痛に対する看護② 第6週：排便異常に対する看護① 第7週：排便異常に対する看護② 第8週：排尿異常に対する看護① 第9週：排尿異常に対する看護② 第10週：呼吸異常に対する看護① 第11週：呼吸異常に対する看護② 第12週：高齢犬に対する看護① 第13週：高齢犬に対する看護② 第14週：まとめと評価試験 第15週：解答	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
定期試験+平常点 (授業態度) 100% ±10点		定期試験+平常点 (授業態度) 100% ±10点	

ペットプロデュース学科			
前期/授業予定回数：/120回（1授業45分）		後期/授業予定回数：/ 120回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
	岩元 奈穂		岩元 奈穂
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<p>目標取得資格名<経専学園認定グルーマーライセンス></p> <p>習得目標</p> <p>道具の扱いを理解し、グルーミングを習得する。</p> <p>授業の特徴</p> <p>トリミング作業の基本とトリマーとしての心構え、技術とそれに伴う掃除野方法を学ぶ。</p> <p>授業の進め方</p> <p>トリミング作業の基本の流れ、トリマーとしての心構え、技術を段階的に学ぶ。 また、自分の道具の手入れと日替わりで掃除当番が当たる。</p>		<p>目標取得資格名<トリマーライセンス></p> <p>科目の必要性・業界での必要性</p> <p>道具や犬の扱い方を再確認し、状況に合わせた扱い方をマスターする。</p> <p>授業の特徴</p> <p>トリミング作業の基本とトリマーとしての心構え、技術を学ぶ。</p> <p>授業の進め方</p> <p>トリミング作業の基本と流れ、トリマーとしての心構え、技術を段階的に学ぶ。また、週1回の授業なのでより有意義なものにする。</p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
<p>第1週 【オリエンテーション】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習室の使用方法、掃除の内容、手順 ・トリミング用品の扱い方、注意点、手入れ法 ・シザー練習、ウィック、リボン作り・付け ・犬の扱い方と接し方、注意事項 ・グルーミング実演講義 (爪きり、耳掃除、ブラッシングなど手順を学ぶ) <p>第2週～6週</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ実習 小型のグルーミング犬種を2～3人で1頭所定の時間内でグルーミングする。 ・犬の保定法の習得 ・ヒゲ切り、足周りのカット <p>第7週～第16週</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2人～1人で小型犬のグルーミングを行う ・中・大型犬のグルーミング 		<p>第1週～第15週</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ 各犬種規定の時間内に仕上げる。 小型・中型・大型犬 ☆ 校内ライセンス合格者から順にトリミング犬種のトリミング ・シーザー ・マルチーズ ・ペキニーズ ・コッカー など 全身バリカン仕上げ、スキバサミを使用する ☆ バリカン、ハサミの確認がとれた者から動物看護師のみ受験可能な校内ライセンス試験の実施 	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
トリミング実習評価表に基づく + 平常点 100% ±10点		トリミング実習評価表に基づく + 平常点 100% ±10点	

ペットプロデュース学科/動物看護師科 1年生			
前期/授業予定回数：45回（1授業45分）		後期/授業予定回数：60回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
動物看護コアテキスト第6巻	青木 美帆	動物看護コアテキスト第6巻	青木 美帆
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<u>目標取得資格名</u> <動物看護師統一試験> <u>取得目標</u> 様々な臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機器の正しい扱い方、所見の記録方法を修得する。 <u>授業の特徴</u> 検体、検査機器を用いた実習授業 <u>授業の進め方</u> 理解力を確認しながら実習形式で進める。		<u>目標取得資格名</u> <動物看護師統一試験> <u>取得目標</u> 様々な臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機器の正しい扱い方、所見の記録方法を修得する。 <u>授業の特徴</u> 検体、検査機器を用いた実習授業 <u>授業の進め方</u> 理解力を確認しながら実習形式で進める。	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
第1週：顕微鏡の使用方法 第2週：糞便検査 第3週： 〃 第4週： 〃 第5週： 〃 第6週： 〃 第7週： 〃 第8週： 〃 第9週： 〃 第10週： 〃 第11週： 〃 第12週： 〃 第13週： 〃 第14週：定期試験解 第15週：解答		第1週：顕微鏡の使用方法 第2週：尿検査 第3週： 〃 第4週： 〃 第5週： 〃 第6週： 〃 第7週： 〃 第8週： 〃 第9週： 〃 第10週： 〃 第11週： 〃 第12週： 〃 第13週： 〃 第14週：定期試験解 第15週：解答	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点		素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科/動物看護師科 1年生			
前期/授業予定回数：		後期/授業予定回数：30回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
			青木 美帆
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
<u>目標取得資格名</u> <u>修得目標</u> <u>授業の特徴</u> <u>授業の進め方</u>		<u>目標取得資格名</u> <動物看護師統一認定試験> <u>修得目標</u> 犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な知識と手技を学び、身体検査や採血、投薬、輸液、輸血などについて理解する。 <u>授業の特徴</u> 座学、実習 <u>授業の進め方</u> 理解力を確認しながら実習を行う	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
		第1週：前期おさらい 第2週：輸液療法とは 第3週：輸液準備 第4週： // 第5週： // 第6週：留置準備 第7週： // 第8週：皮下輸液 第9週：輸液療法（輸液ポンプの取り扱い） 第10週： // 第11週：入院管理 第12週： // 第13週：1年次おさらい 第14週：定期試験 第15週：試験解答復習	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
		定期試験 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科/動物看護師科 1年生			
前期/授業予定回数： 週（1授業 分）		後期/授業予定回数：30回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
		動物看護コアテキスト4 動物の行動と健康管理	今木 康彦
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
		<p>目標取得資格名<認定動物看護師> 科目の必要性・業界での必要性 動物看護師統一認定試験出題範囲 授業の特徴 認定試験対策を踏まえながら、伴侶動物、エキゾチックアニマル、産業動物、実験動物、展示動物、野生動物の飼養管理について学んでいく 授業の進め方 レジメ、資料等を使い授業を進めていき、さらにビデオをみて学びを深くしていく</p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
		<p>第1週～第4週：伴侶動物①犬の飼養管理 第5週～第7週：伴侶動物②猫の飼養管理 第8週：エキゾチックアニマル① ウサギの飼養管理 ハムスターの飼養管理 第9週：エキゾチックアニマル② モルモットの飼養管理 フェレットの飼養管理 第10週：エキゾチックアニマル③ 小鳥の飼養管理 第11週：産業動物① ウシの飼養管理 ヤギ・ヒツジの飼養管理 第12週：産業動物② ウマの飼養管理 ブタの飼養管理 第13週：産業動物③ ニワトリの飼養管理 農場HACCPについて 第14週：実験動物 第15週：野生動物</p>	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
		<p>素点 + 平常点（授業態度） 100% ±10点</p>	

ペットプロデュース学科/動物看護師科			
前期/授業予定回数： 週（1授業 分）		後期/授業予定回数：30回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
		動物看護コアテキスト 第3巻	青木 美帆
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
		<p>目標取得資格名<動物看護師統一認定試験> 科目の必要性・業界での必要性 ・動物が関係する人畜共通感染症の病原体、感染経路、 症状、対策法などを理解し、飼い主の健康保全、動物 福祉などに活かすことができる</p> <p>授業の特徴 ・座学</p> <p>授業の進め方 ・座学</p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
		第1週：公衆衛生、人獣共通感染症とは 第2週：病気の伝播、感染経路について 第3週：伴侶動物が関係する人獣共通感染症 （パストレラ症、レプトスピラ症、 ブルセラ症、猫ひっかき病、 サルモネラ感染症など） 第4週： // 第5週： // 第6週： // 第7週： // 第8週： // 第9週： // 第10週： // 第11週： // 第12週：消毒と滅菌 第13週：動物検疫、感染症 第14週：定期試験 第15週：試験解答復習	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
		定期試験 + 平常点（授業態度） 100% ±10点	

ペットプロデュース学科/動物看護師科			
前期/授業予定回数： 週（1授業 分）		後期/授業予定回数：60回（1授業45分）	
使用テキスト名	科目担当講師	使用テキスト名	科目担当講師
		動物看護コアテキスト第6巻 動物看護の実践 (ファームプレス)	伊藤 航
目標・特徴・必要性など		目標・特徴・必要性など	
		<p><u>目標取得資格名</u>＜動物看護師統一認定試験＞ <u>科目の必要性・業界での必要性</u> 獣医の診断プロセスを共有し、診療の流れ全体を把握する為の基礎知識です。</p> <p><u>授業の特徴</u> 動物看護職統一資格試験の過去問を解答解説し、関連する部分を教科書などの教材で掘り下げます。</p> <p><u>授業の進め方</u> 講義毎に小テストを行い、定期試験の代用とします。</p>	
授 業 進 行 計 画		授 業 進 行 計 画	
		第1週 2015年度 第2週 動物看護職統一資格試験過去問より 第3週 動物疾病看護学、幼齢・老齢動物管理に属する設問を抜粋 第4週 これらの解答と解説など 第5週 〃 第6週 2016年度 第7週 動物看護職統一資格試験過去問より 第8週 動物疾病看護学、幼齢・老齢動物管理に属する設問を抜粋 第9週 これらの解答と解説など 第10週 〃 第11週 2017年度 第12週 動物看護職統一資格試験過去問より 第13週 動物疾病看護学、幼齢・老齢動物管理に属する設問を抜粋 第14週 これらの解答と解説など 第15週 〃	
成 績 評 価 方 法		成 績 評 価 方 法	
		定期試験±平常点（授業態度） 100点 10点	